こんにちは 加藤ひろしです

第80号

私の活動地域
晴海・勝どき・豊海町
築地・浜離宮庭園

くらしや区政のご相談
お気軽にお電話ください
３５５１－６８２０（事務所）
３５３３－０５８３（自宅）

日本共産党中央区議会議員

私のブログもご覧ください『こんにちは加藤ひろしです』で検索！

選手村・住宅戸数約5,650戸，人口12,000人の巨大な開発計画

都有地なのに公的住宅ゼロの五輪レガシー

４月25日、私（加藤博司）が所属する「東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会」が開かれ、東京都が公表した選手村レガシー（遺産）として、晴海５丁目に整備計画の選手村に関して審議が行われました。

選手村の整備計画の主な柱は、①建築基盤整備（市街地再開発事業）、②エネルギー計画、③交通計画、④晴海ふ頭公園の再整備計画の４点です。特に①の建築・基盤整備計画については「景観・デザイン」「建物配置」「導入施設」「基盤整備」「水素の利活用」「スケジュール」の６項目に分かれています。

選手村整備については４月下旬ころ、東京都において都市再開発法に基づく第一種市街地再開発事業の認可後、特定建築者（民間事業者）の公募、基盤整備工事がすすめられるとしています。

タワー型住宅は見直しで 都営住宅の建設を

選手の宿泊施設住宅棟14～18階建の板状棟22棟を建て選手村として１７，０００ベットを準備。大会終了後50階建・１８０メートルの超高層タワー型住宅２棟と商業施設１棟を追加する計画です。大会後、事業者がマンションとして約４，１６０戸を分譲住宅として販売、約１，４９０戸を賃貸し、建設費などを回収するとしてます。

都有地でありながら都営住宅などの公的住宅は全くありません。大会終了後、選手村を低家賃住宅に転用したロンドン大会とは大きく違います。

右記は「東京２０２０大会後の選手村のイメージ」図。晴海ふ頭の「客船ターミナル」は大会終了後、撤去の予定

「戦争法の廃止を求める統一署名」にご協力を

日本共産党中央区議団ニュース

2016年4月上旬号　中央区築地１－１－１
電話３５４６－５５６３，ＦＡＸ３５４６－９５７０

いったい、いくらかかるの？「総事業費」

東京都は、選手村建設にあたり、これまで９５４億円の民間資金で造ると公表していたが、選手村の再開発事業に着手したことを公表し、道路などの基盤整備に少なくとも４１０億円の公的資金を充て、内訳は建物の盛り土工事に１８９億円、上下水道を含む道路工事に１８８億円、調査測量に３３億円とし、敷地に隣接する公園や船着き場、大会後に区が建てる小学校の整備費などは含んでいません。事業費がふくれ上がり税金の投入も考えられます。

今後の選手村開発スケジュール

２０１６年
- ４月　市街地再開発事業に着手（基盤整備工事に着手）
- ５月　特定建築者（住宅棟等の建築の実施者）の公募
- ７月　特定建築者の選定

２０１７年
- １月　建築工事に着手

２０１９年
- １２月（目途）大会時に必要な部分の整備完了

２０２０年
- ７月　東京２０２０大会

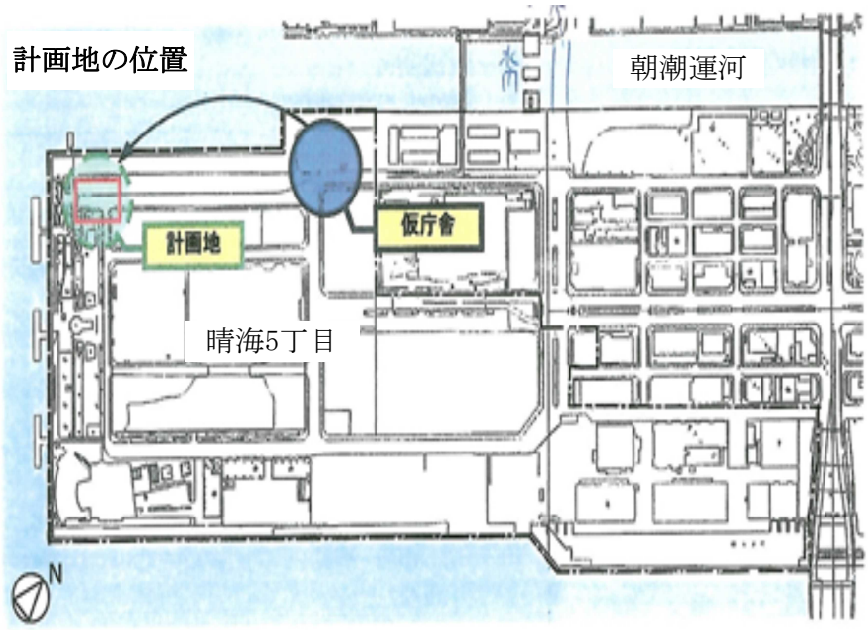
大会後改修工事

２０２４年度　事業完了

臨港消防署　仮庁舎から本庁舎整備へ

４月11日開催の「中央区都市計画審議会」において、臨港消防署の計画概要についての審議が行われ賛成多数で承認されました。

臨港消防署は、６年前、環状２号線の建設に伴い、現在の晴海５丁目に仮庁舎に移転していました。２０２０年東京オリンピック・パラリンピック開催「選手村を警戒する要の消防署」として、また、大会後には、晴海地区の「将来人口に対応できる消防署」として生まれ変わり、地域の安心・安全を確保することになります。



建物の概要では寄宿舎（１２戸）、ヘリポート（緊急離発着場）を兼ね備えた５階建て約２４．５メートルの高さになります。その他陸上施設として訓練作業スペース等が整備される予定です。また、港湾施設として朝潮運河沿いに消防艇や水上スクーター用の浮き桟橋が整備されます。

建物敷地は、晴海ふ頭公園と隣接し、壁面緑化などが予定されています。

〔外観イメージ（北側）〕